

ぐるっと東北

母校を
たずねる

テニス漬け「全国」常連に

東京・足立区議 長澤興祐さん＝1999年度卒

岩手高 ⑥

「岩高(がんこう)でテニスをやったことが、すべてですね」。東京都の足立区議会議員、長澤興祐さん(37)＝1999年度卒＝は岩手中高時代、テニス部の主将を務め、団体などで活躍しました。「先生以上の存在」だった恩師とのつながりは今も深く、故郷を離れても東北との縁を大切に続けています。【山内真弓】

中学に入学したころは、やんでした。中2でテニス部のちやなごとはかりしていま監督に誘われ、インターハイや国体に当たり前に出場する先生たちに「お母さんを悲しませるな」と叱られました。母子家庭だったので、すべての先生がおやじやお兄さん代わりで、「先生」を超えた存在でした。校長先生ですらこうすけと呼んでくれました。当時は反発もしたし、面倒くさいと思ったこともありましたが、でも、先生たちは絶対に見放さず、私と真剣に向き合ってくれました。怒られた後に先生と夜、ラーメンを食べたことも強く記憶に残っています。卒業してから20年以上たちますが、今は先生たちとお酒を飲む関係です。

中1の時はサッカー部でしたが、部員は2人しかいませ

宿題や課題をこなすのに苦労しましたが、学校のある日は朝7時前には登校し、朝練をしてから授業を受けていました。授業が終わると、自転車で行く山を越えて公営のテニスコートに向かい、夜7時ごろまで練習して、また1時間かけて自転車で帰る。自転車に乗ってばかりでしたが「トレーニングになる」と前向きに捉えていました。高3の時に岩手でインターハイが開かれ、選手宣誓も経験しました。学校や地元の看板を背負い、フレッシュを感じながらテニスを続けた経験は今の議員生活にも生きています。

高校から入学生徒が多く、岩中同期生は14人。中学からの仲間が少ない分、絆は深く、社会に出た今も、母校の縦や横のつながりを大切にしています。岩手に帰ると、仲間が集まってくれたり、東京での選挙を手伝ってくれたり。毎年東京で開かれる同窓会にも参加しています。足立区(東京)選出の都議の



＝手塚耕一郎撮影

ながさわ・こうすけ 1981年生まれ。小学生の時から矢巾町で暮らす。日大法学部政治経済学科卒。中学からテニスを始め、インターハイや国体などに出場。日大テニス部では副キャプテン。大学卒業後もオーストラリアでテニスの指導に携わる。帰国後、民間企業勤務を経て都議の秘書に。2015年、足立区議会議員に初当選。今月、明治大学大学院修士課程を修了予定。

卒業生「私の思い出」募集

岩手高卒業生のみなさんの「私の思い出」を募集します。300字程度で学校生活や恩師、友人との思い出、またその後の人生に与えた影響などをお書きください。卒業年度、氏名、生年月日、職業、電話番号、あればメールアドレスを明記のうえ、〒100-8051、毎日新聞地方部「母校」係(住所不要)へ。メールの場合はshuto@mainichi.co.jpへ。いただいた「思い出」は紙面や、毎日新聞ニュースサイトで紹介することがあります。

将棋でも強豪を輩出

岩手高の囲碁将棋部は全国的にも将棋の強豪として知られている。出身で、父が将棋を指す姿を見て5歳でルールを覚えた。小学6年の時、父の後押しで岩手中に進学し、親元を離れ、石坂寮で生活を始めた。休日には6～8時間研さんを積み、全国タイトルを手にした。同高からは、中川慧梧さんが2009、10年、全国高校将棋選手権で2連覇している。

昨年、全国高校将棋選手権で橋本力さん(1年)が優勝した。前年の全国中学生選抜将棋選手権大会に続いての全国制覇だ。橋本さんは千葉県



橋本力さん＝盛岡市内で、小銀治孝志撮影

囲碁将棋部の前身の将棋同好会は1994年に発足した。顧問の藤原隆史教諭の指導の下、97年には団体で全国高校総合文化祭に出場するまでに実力を伸ばした。13年には全国高総文祭で3連覇を果たし、盛岡市から市民栄誉賞を贈られた。【滝沢修】(毎週金曜日掲載)